

① 以下の文章を読みながら「\_\_\_\_\_」に \_\_\_\_\_をつけてください。

わたくしはそのひをつねにせんせいとよんでいた。だからここでもただせんせいかくだけでほんみょうはうちあけない。これはせけんをはばかりえんりよというよりも、そのほうがわたしにとってしぜんだからである。わたしはそのひのきおくをよびおこすごとに、すぐ「せんせい」といいたくなる。ふでをとってもこころもちはおなじことである。よそよそしいかしらもじなどはとてもつかうきにならない。

わたしがせんせいとしりあいになったのはかまくらである。そのときわたしはまだわかかわかしいしょせいであった。しょちゅうきゅうかをりょうしてかいすいよくにいったともだちからぜひこいというはしがきをうけとったので、わたしはたしょうのきんをくめんして、でかけることにした。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

③ 何について書かれた文章でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線 .....

【物語】 仮名拾い (かなひろい) 課題プリント その1 カスタマイズ用

答え ③ 先生について書かれた文。(他、物語を説明してもらおう) など

物語の出典：

ころ - 夏目漱石 著

を平仮名に加工して作成